

◎7月定例会「社会見学 ①」7月2日(木) 快晴 参加者19名

～ 梅雨の晴れ間に恵まれ、今年度初の例会活動を楽しみました！～

大江戸線練馬駅に集合した参加者と直接浅草に集合した参加者が、松屋浅草店で合流しました。地下1階でお好みの弁当を買って出発。19名の参加者が松屋沿いに江戸通りを北に向かい隅田公園に入ると日差しが強く、少ない木陰を探しながら隅田川上流方向に歩きます。言問橋をくぐり隅田公園山谷堀広場まで来ると、出口近くに「平成中村座発祥の地記念碑」が設置されていました。

十八世中村勘三郎丈(当時 勘九郎)の抱いてきた夢が「平成中村座」として二千年十一月、ここ山谷堀に実現しました。と碑文に刻まれていた。ここから数分で「**今戸神社**」に到着。

今戸神社は、江戸時代から浅草今戸の今戸焼で作られた招き猫が人気となり、「**招き猫発祥の地**」と言われています。本殿には、大きさ60～70cmのペアの招き猫と今年の干支である「子」の置物が、奥の方には更に大きなペアの招き猫が鎮座していました。また、本殿への階段の途中に白猫が気持ちよさそうに日向ぼっこしていました。

新型コロナウイルス終息を願って参拝しました。

本殿横にも、浅草と招き猫を歌った歌碑の上に石作りのペアの招き猫「**石なで猫**」が乗っています。

境内植え込みには沢山の招き猫や猫の置物、猫のじょうろが置かれています。

今戸神社は縁結びの神様として人気があり、コロナ禍前は海外からの観光客も訪れていたそうです。

参拝後、近くの山谷堀公園で昼食を摂る予定でしたが、炎天下で木陰がほとんど無いため、向かいの隅田公園山谷堀広場に変更しました。ベンチは少なかったが、風通しが良い木陰で植え込みの石垣に全員座れて涼しくランチを楽しみました。昼食後少し時間に余裕があったので、道路向かい側の「**待乳山聖天**(まつちやましょうでん)」に参拝しました。西暦595年に創建された1400年以上の歴史を持つお寺です。歌川広重の錦絵に描かれている「**築地堀**(ついじべい)」が境内に残っています。本殿横から「**さくらレール**」という日本一短いと言われるモノレール(長さ20m位、定員4人)で降りました。無人運転のため、自分で操作します。

都営浅草線浅草駅まで戻り新橋でJRに乗換え、「**高輪ゲートウェイ駅**」に到着。1971年に開業した西日暮里駅以来、約50年ぶりに30番目のJR山手線新駅として今年3月に開業しました。

主な見学場所は～

駅舎：地上3階、地下1階の鉄骨作り。隈研吾氏設計の「和」を感じられるデザイン。

構内：日本の駅としては珍しい吹き抜け構造で開放的。

大屋根：折り紙をモチーフとした南北110mの白い大屋根は、熱反射率が高い膜屋根を採用し、温度を上昇させずに外光を採り入れられるようになっており、照明電力量削減を実現。



↑石なで猫 今戸神社:本殿 ↓ペアの招き猫



高輪ゲートウェイ駅

東北地方の国産材を使用：鉄骨部の他、壁面や柱にも木材が多く採り入れられている。

木目：コンコース、ホーム、階段、トイレ等床面では木目のタイルが使われている。

駅のトイレとは思えないトイレ：開放感があり、とても明るい。天井や壁面は杉材が多く使われている。

耐久性を持たせるため表面には特殊加工が施されている。手洗い場にはアロマディフューザーが設置され、爽やかな香りが広がっている。

無人 AI 決済店舗「TOUCH TO GO」：商品を手にとるだけでウォークスルーの買い物ができる無人 AI 決済店舗が営業中。(AI: Artificial Intelligence 人工知能)

自律移動型ロボット：警備ロボットが稼働中でした。

鉄道テラスビジョン：柱状のサイネージ(電子看板)12枚と、18面のディスプレイからなる大型のビジュアル設備で、縦5m、横14m。サイネージとディスプレイが連動して、さまざまな映像を映し出すことが出来る。

新改札機の試験導入：ICカードのタッチ部が60度傾いていて、車いす利用者や背の低い子供でもタッチしやすい。また、QRコードの読み取りセンサーも付いている。

今回の見学先は、3密のリスクが低い屋外で、電車も混雑の少ない時間帯に利用できました。

報告：新井建男